

平成23年度標茶町上水道事業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成23年度標茶町上水道事業会計決算

2 審査の期日

平成24年6月27日

3 審査の書類

(1) 決算報告書

(2) 財務諸表

ア 損益計算書

イ 剰余金計算書

ウ 剰余金処分計算書

エ 貸借対照表

(3) 附属書類

ア 事業報告書

イ 収益費用明細書

ウ 固定資産明細書

エ 企業債明細書

4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計数はいずれも正確であるとともに、平成24年3月31日現在における財政状況及び経営成績を適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりである。

1 予算執行状況

本年度の予算執行状況は次表のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収支の状況

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額	
			H23年度	H22年度		
収 入	営業収益	74,325,000	(72,132,220) 68,757,457	(97.0) 92.5	(97.0) 92.5	(△2,192,780) △5,567,543
	給水収益	70,635,000	(70,870,020) 67,495,257	(100.3) 95.6	(100.5) 95.7	(235,020) △3,139,743
	受託工事収益	2,550,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(△2,550,000) △2,550,000
	一般会計負担金	900,000	(900,000) 900,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	その他営業収益	240,000	(362,200) 362,200	(150.9) 150.9	(99.0) 99.0	(122,200) 122,200
	営業外収益	28,821,000	(28,610,086) 22,031,754	(99.3) 76.4	(99.8) 96.9	(△210,914) △6,789,246
	受取利息及び配当金	30,000	(3,000) 3,000	(10.0) 10.0	(19.9) 19.9	(△27,000) △27,000
	他会計負担金	21,491,000	(21,491,000) 21,491,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	消費税及び地方消費税還付金	6,722,000	(6,551,545) 0	(97.5) 0.0	(95.7) 0.0	(△170,455) △6,722,000
	雑収益	578,000	(564,541) 537,754	(97.7) 93.0	(101.1) 96.4	(△13,459) △40,246
収入合計	103,146,000	(100,742,306) 90,789,211	(97.7) 88.0	(97.7) 93.5	(△2,403,694) △12,356,789	
支 出	営業費用	82,858,000	(76,714,510) 76,010,583	(92.6) 91.7	(93.2) 92.7	(6,143,490) 6,847,417
	配水及び給水費	44,017,000	(41,331,877) 40,627,950	(93.9) 92.3	(91.7) 90.7	(2,685,123) 3,389,050
	受託工事費	2,550,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(2,550,000) 2,550,000
	減価償却費	33,643,000	(33,641,915) 33,641,915	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(1,085) 1,085
	資産減耗費	2,648,000	(1,740,718) 1,740,718	(65.7) 65.7	(100.0) 100.0	(907,282) 907,282
	営業外費用	10,988,000	(10,857,630) 10,857,630	(98.8) 98.8	(94.2) 94.2	(130,370) 130,370
	支払利息及び企業債取扱諸費	10,788,000	(10,725,990) 10,725,990	(99.4) 99.4	(94.7) 94.7	(62,010) 62,010
	雑支出	200,000	(131,640) 131,640	(65.8) 65.8	(68.2) 68.2	(68,360) 68,360
	予備費	50,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(50,000) 50,000
	支出合計	93,896,000	(87,572,140) 86,868,213	(93.3) 92.5	(93.2) 92.8	(6,323,860) 7,027,787
(差引額) 当年度純利益	—	(13,170,166) 3,920,998	—	—	—	

<注> ; 上段 () 内の数値並びに割合は消費税込みで表示

収益的収入及び支出の決算額は、収入合計100,742,306円で予算額103,146,000円に対し

2,403,694円の減、収入率は97.7%となっている。これは主に営業収益の受託工事収益がゼロ円（予算額2,550,000円）であったことによる。営業外収益の消費税及び地方消費税還付金6,551,545円は、繰越工事の釧路川横断配水管布設替工事に係る消費税及び地方消費税の還付金を含み、前年度（606,895円）と比較して5,944,650円の増となっている。また、収入の予算額は、営業外収益で471,000円が減額補正されている。

支出については、決算額87,572,140円で予算額93,896,000円に対し執行率は93.3%、不用額は6,323,860円となった。これは主に営業費用の配水及び給水費で修繕費の発生が少なかったこと及び受託工事費が発生しなかったことが大きな要因であった。なお、支出の予算額は、営業費用で245,000円が減額補正されている。

以上の結果、収入支出決算額は、差引額で収入額が支出額を13,170,166円上回っている。

（２）資本的収入及び支出

資本的収支の状況

（単位：円・％）

区 分	予算額	決算額	執行率		予算に比べ決算額の増減及び不用額
			平成23年度	平成22年度	
収 入	企業債	(4,800,000) 4,800,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	一般会計 借入金	—	—	(100.0) 100.0	(—) —
	一般会計 出資金	—	—	(100.0) 100.0	(—) —
	収入合計	4,800,000	(4,800,000) 4,800,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0
支 出	企業債償還金	(21,833,588) 21,834,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(412) 412
	建設改良費	(117,141,250) 117,142,000	(100.0) 95.2	(60.0) 58.5	(750) 5,578,905
支出合計	138,976,000	(138,974,838) 133,396,683	(100.0) 96.0	(61.2) 59.8	(1,162) 5,579,317
差引額	—	(△134,174,838) △128,596,683	—	—	—

<注>：上段（ ）内の数値並びに割合は消費税込みで表示

収入については、予算額4,800,000円で、決算額も同額の4,800,000円となっており、予算額は、企業債で1,200,000円の減額補正をしている。

支出については、予算額は建設改良費の繰越額102,100,000円を含め総額138,976,000円で、決算額は、企業債償還金21,833,588円、建設改良費は、釧路川横断管布設替工事等で117,141,250円となっている。

本年度決算においては、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額134,174,838円を、過年度分損益勘定留保資金992,082円、繰越工事資金102,100,000円、減債積立金処分額21,833,588円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額716,250円及び過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,532,918円で補填している。

(3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条第1項に規定する予算に係る主な事項の執行状況は、次のとおりである。

ア 企業債

本年度総額4,800,000円の企業債が発行されたが、目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算に定められた範囲内で執行されている。

イ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、職員給与費23,303,609円、交際費は支出はなく、いずれも予算の範囲内で執行されている。

ウ 他会計からの負担金

負担金決算額は、一般会計から16,546,000円、下水道事業特別会計から4,945,000円の合計21,491,000円で予算額と同額であった。

2 経営状況

経営成績及び主な利益指標の推移

(単位：円・%)

区 分	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
総収益	90,789,211	90,231,313	89,894,668	88,702,939
うち営業収益	68,757,457	68,417,305	68,472,186	67,693,391
総費用	86,868,213	86,197,823	75,471,668	76,654,593
うち営業費用	76,010,583	75,999,012	66,460,272	69,023,023
当年度純利益	3,920,998	4,033,490	14,423,000	12,048,346
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金	3,920,998	4,033,490	14,423,000	12,048,346
経常収支比率	104.5	104.7	119.1	115.7
営業収支比率	90.5	90.0	103.0	98.1
総資本利益率	0.4	0.5	2.1	2.1

<注> 1. 営業収支比率については、営業収益・費用のうち受託工事に係る収益・費用を除いて算出している

2. 総資本利益率=純利益/(期首総資本+期末総資本)×1/2

本年度の経営状況(損益計算書に基づき記述・図表の数値は消費税抜きで表示)は、総収益90,789,211円、総費用86,868,213円で、差引3,920,998円の純利益が計上されている。営業収支は、営業収益68,757,457円に対し営業費用76,010,583円であり、差引7,253,126円営業費用が上回っている。

収益、費用を前年度と比較すると、総収益は557,898円、総費用は670,390円の増加となっており、純利益3,920,998円は前年度(4,033,490円)に比し112,492円の減少となっている。

(1) 収益

本年度の総収益は90,789,211円で、前年度に比し557,898円の増加となっている。
このうち営業収益は、総収益の74.3%を占める給水収益が67,495,257円で、前年度に比し215,552円増加している。受託工事収益については今年度もゼロ円となっている。営業外収益は、22,031,754円で前年度に比し217,746円の増加となっているが、これは他会計負担金の増加によるものである。

収益の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成23年度 (A)		平成22年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	対前年比
営業収益	68,757,457	75.7	68,417,305	75.8	340,152	100.5
給水収益	67,495,257	74.3	67,279,705	74.5	215,552	100.3
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
一般会計負担金	900,000	1.0	900,000	1.0	0	100.0
その他営業収益	362,200	0.4	237,600	0.3	124,600	152.4
営業外収益	22,031,754	24.3	21,814,008	24.2	217,746	101.0
受取利息及び配当金	3,000	0.0	7,978	0.1	△4,978	37.6
他会計負担金	21,491,000	23.7	21,249,000	23.5	242,000	101.1
消費税・地方消費税還付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
雑収益	537,754	0.6	557,030	0.6	△19,276	96.5
総収益	90,789,211	100.0	90,231,313	100.0	557,898	100.6

(金額は消費税抜き)

(2) 費用

本年度の費用総額は86,868,213円で、前年度に比し670,390円の増加となっている。
このうち営業費用は、配水及び給水費と減価償却費が前年度に比べ増加しているが、資産減耗費が1,740,718円で前年度に比べ19,384,133円の減少となっており、営業費用総額では前年度並みの金額となっている。営業外費用は前年度に比べ658,819円増の10,857,630円となっている。

費用の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成23年度 (A)		平成22年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	対前年比
営業費用	76,010,583	87.5	75,999,012	88.2	11,571	100.0
配水及び給水費	40,627,950	46.8	33,424,960	38.8	7,202,990	121.5
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
減価償却費	33,641,915	38.7	21,449,201	24.9	12,192,714	156.8
資産減耗費	1,740,718	2.0	21,124,851	24.5	△19,384,133	8.2
営業外費用	10,857,630	12.5	10,198,811	11.8	658,819	106.5
支払利息及び企業債取扱諸費	10,725,990	12.3	10,062,481	11.7	663,509	106.6
雑支出	131,640	0.2	136,330	0.1	△4,690	96.6
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総費用	86,868,213	100.0	86,197,823	100.0	670,390	100.8

(金額は消費税抜き)

(3) 給水原価並びに供給単価等の推移

上水道事業に係る有収水量、給水原価並びに供給単価等は次のとおりとなっている。
年間有収水量は434,630m³で前年度より1,580m³増加している。

給水原価は199円87銭で前年度より82銭の増、供給単価は155円29銭で前年度より7銭の減となっている。また、給水原価と供給単価の差は44円58銭で、前年度より89銭増えている。

区分	単位	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	差引 (A) - (B)	平成21年度	平成20年度
計画人口	人	5,020	5,020	0	5,020	5,020
給水戸数	戸	2,185	2,178	7	2,183	2,166
給水人口	人	4,552	4,568	△16	4,574	4,543
年間配水量	m ³	636,374	493,823	142,551	492,641	485,849
年間有収水量	m ³	434,630	433,050	1,580	432,539	426,155
給水収益	円	67,495,257	67,279,705	215,552	67,323,086	66,542,591
ア給水原価	円	199円87銭	199円5銭	82銭	174円49銭	179円87銭
イ供給単価	円	155円29銭	155円36銭	△7銭	155円65銭	156円15銭
差額ア-イ	円	44円58銭	43円69銭	89銭	18円84銭	23円72銭

<注> ・給水原価 = (総費用 - 受託工事費) / 有収水量 (金額は消費税抜き)

・供給単価 = 給水収益 / 年間有収水量

(4) 配水量及び有収水量

(単位: m³・%)

区分	総配水量 (A)	減少要因		配水量 (A) - (B) - (C) = (D)	不明漏水 (E)	有収水量 (D) - (E) = (F)	有収率 (F) / (D)
		消防使用分 (B)	その他 (C)				
平成23年度	638,599	98	2,127	636,374	201,744	434,630	68.3
平成22年度	505,959	9,024	3,112	493,823	60,773	433,050	87.7
対前年度	132,640	△8,926	△985	142,551	140,971	1,580	△19.4

3 財政状況

本年度の財政状況を貸借対照表及び資料に基づき示すと次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示)

<資産>

当年度末資産合計は、1,003,827,315円で前年度末(1,017,106,722円)より13,279,407円の減少となっている。

固定資産は764,020,487円で、前年度(623,670,110円)に比し140,350,377円増加している。内訳は、有形固定資産が758,667,125円で前年度(617,781,469円)より140,885,656円増加し、無形固定資産が5,353,362円で前年度(5,888,641円)より535,279円減少している。

流動資産は239,806,828円で、前年度(393,436,612円)に比し153,629,784円減少している。内訳は、現金預金が226,144,413円で前年度(317,291,077円)に比し91,146,664円減少し、未収金は水道使用料7,110,870円、消費税及び地方消費税還付金6,551,545円、

合計13,662,415円で、前年度（8,145,535円）より5,516,880円増加している。

水道使用料の収納状況

（単位：円、件、％）

区 分	平成23年度				平成22年度		対前年度増減			
	調定額	収納額	収納率	不納欠損額	未収状況		未収状況			
					件数	金額	件数	金額	件数	金額
現年度分	70,870,020	69,892,340	98.6	—	406	977,680	369	837,150	37	140,530
滞納繰越分	7,538,640	1,273,810	16.9	131,640	2,507	6,133,190	2,740	6,701,490	△233	△568,300
合 計	78,408,660	71,166,150	90.8	131,640	2,913	7,110,870	3,109	7,538,640	△196	△427,770

（金額には消費税が含まれている）

水道使用料の未収額は、現年度分と滞納繰越分を合わせると7,110,870円となっており、前年度（7,538,640円）より427,770円減少している。

不納欠損処分として債権消滅したのは74件131,640円（個人1名、法人2社）で、いずれも消滅時効の完成によるものである。内訳は、納入義務者死亡が3件、法人の活動廃止（不明）が71件であった。

<負債>

負債は30,989,789円で前年度（30,997,534円）に比し7,745円の減少となっている。内訳は、固定負債は修繕引当金30,197,341円で前年度と同額となっているが、流動負債は前受金、預り金の合計792,448で、前年度より7,745円減少している。

<資本>

資本金は887,046,347円で前年度（882,246,347円）に比し4,800,000円の増加となっている。内訳は、自己資本金が411,491,003円で前年度（389,657,415円）より21,833,588円増加し、借入資本金の一般会計借入金が243,770,000円で前年度（256,600,000円）より12,830,000円減少、企業債が231,785,344円で前年度（235,988,932円）より4,203,588円減少している。

<剰余金>

剰余金は85,791,179円で前年度（103,862,841円）に比し18,071,662円の減少となっている。内訳は、資本剰余金が38,720,109円で前年度（38,879,181円）より159,072円減少し、利益剰余金が47,071,070円で前年度（64,983,660円）より17,912,590円減少している。

当年度利益剰余金（当年度純利益）3,920,998円は減債積立金として処分され、資金的収入の不足分として補填された21,833,588円を差し引き、減債積立金の当年度末残高は35,071,070円となっている。

むすび

以上、予算執行、経営状況、財政状況にわたる計数の表示と所見を述べて参りましたが、総括して次のとおり審査意見を申し上げます。

平成23年度上水道事業は、生活用水その他の浄水を町民に提供するため、給水戸数2,185戸（前年度2,178戸）、年間配水量636,374 m^3 （前年度493,823 m^3 ）、年間有収水量434,630 m^3 （前年度433,050 m^3 ）で、いずれも前年度より増加した水需要構成の状況で運営され、配水管総延長は49.8km（導水管1.2km 配水管48.6km）となっている。配水管総延長は水源変更等により前年度より19.7km短くなっている。

これらに属する職員は、平成24年3月31日現在5名（町長部局併任発令2名）で、人件費は業務割合に応じ一般会計から16,546,000円の負担金を受けている。

経営成績は、総収益90,789,211円、総費用は86,868,213円の決算額で差引き3,920,998円（前年度4,033,490円）の純利益を生じ減債積立金として処分された。

財政状況は、資産総額1,003,827,315円で、前年度と比較して13,279,407円の減少となっている。内訳は、固定資産が140,350,377円の増加、流動資産が153,629,784円減少したことによるものであります。

財政状況等の変動は、水源変更事業、釧路川横断配水管布設替工事の完了に伴う資産取得が大きな要因です。

当年度の建設改良事業等の資本的支出の総額は138,974,838円執行されおり、この資金は企業債の発行で4,800,000円を調達し、不足する134,174,838円は、繰越工事資金102,100,000円、過年度分損益勘定留保資金992,082円、減債積立金21,833,588円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額716,250円、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,532,918円で補填されております。

また、企業債の当年度末未償還残高は231,785,344円（うち当該年度借入金4,800,000円）で計画的に起債償還も行われています。

水道使用料の未収金については、現年度分、滞納繰越分それぞれについて収納対策の効果が見られ、平成23年度は7,110,870円で前年度より427,770円減少しているが、今後も収納対策に努力をされたい。

配水量、有収水量について、前年から見ると配水量が過大となっており有収率も68.3%（前年度87.7%）と低下しているので、その原因を究明されたい。

上水道事業は、人口の減少や水資源の問題、住民の節水意識の高揚などから給水収益は年々減少するものと予測される中、安全で安定した水道水の供給のため、引き続き的確な水需要の予測、使用料の収納対策、効果的な事業の執行による健全な経営、財政基盤の安定を図ることを望む。

資料 1

標茶町上水道事業貸借対照表比較

(単位：円・%)

項 目	平成23年度 (A)		平成22年度 (B)		差 引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	対前年比
1 固定資産	764,020,487	76.1	623,670,110	61.3	140,350,377	122.5
(1) 土地	889,000	0.1	889,000	0.1	0	100.0
(2) 構築物	582,433,414	58.0	420,763,573	41.3	161,669,841	138.4
(3) 機械及び装置	175,167,186	17.5	186,860,093	18.4	△ 11,692,907	93.7
(4) 車輛運搬具	139,825	0.0	139,825	0.0	0	100.0
(5) 工具・器具及び備品	37,700	0.0	37,700	0.0	0	100.0
(6) 建設仮勘定	0	0.0	9,091,278	0.9	△ 9,091,278	0.0
(7) 施設利用権	5,353,362	0.5	5,888,641	0.6	△ 535,279	90.9
2 流動資産	239,806,828	23.9	393,436,612	38.7	△ 153,629,784	61.0
(1) 現金預金	226,144,413	22.5	317,291,077	31.2	△ 91,146,664	71.3
(2) 未収金	13,662,415	1.4	8,145,535	0.8	5,516,880	167.7
(2) 前払金	0	0.0	68,000,000	6.7	△ 68,000,000	—
資産合計 (1 + 2)	1,003,827,315	100.0	1,017,106,722	100.0	△ 13,279,407	98.7
3 固定負債	30,197,341	3.0	30,197,341	3.0	0	100.0
(1) 引当金	30,197,341	3.0	30,197,341	3.0	0	100.0
4 流動負債	792,448	0.1	800,193	0.1	△ 7,745	99.0
(1) 前受金	764,000	0.1	763,190	0.1	810	100.1
(2) 預り金	28,448	0.0	37,003	0.0	△ 8,555	76.9
負債合計 (3 + 4)	30,989,789	3.1	30,997,534	3.0	△ 7,745	100.0
5 資本金	887,046,347	88.4	882,246,347	86.7	4,800,000	100.5
(1) 自己資本金	411,491,003	41.0	389,657,415	38.3	21,833,588	105.6
(2) 借入資本金	475,555,344	47.4	492,588,932	48.4	△ 17,033,588	96.5
6 剰余金	85,791,179	8.5	103,862,841	10.2	△ 18,071,662	82.6
(1) 資本剰余金	38,720,109	3.8	38,879,181	3.8	△ 159,072	99.6
イ 受贈財産評価額	2,222,968	0.2	2,382,040	0.2	△ 159,072	93.3
ロ その他資本剰余金	36,497,141	3.6	36,497,141	3.6	0	100.0
(2) 利益剰余金	47,071,070	4.7	64,983,660	6.4	△ 17,912,590	72.4
イ 減債積立金	35,071,070	3.5	52,983,660	5.2	△ 17,912,590	66.2
ロ 利益積立金	12,000,000	1.2	12,000,000	1.2	0	100.0
資本合計 (5 + 6)	972,837,526	96.9	986,109,188	97.0	△ 13,271,662	98.7
負債資本合計	1,003,827,315	100.0	1,017,106,722	100.0	△ 13,279,407	98.7

<注>：数値には消費税は含まれていない

資料 2

水道事業経営管理指標

(単位 千円、%)

NO	項 目	積 算 基 礎	23年度		22年度		差引 (A-B)	備考
			数 値	指標A	数 値	指標B		
1	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	$\frac{90,789}{86,868} \times 100$	104.5	$\frac{90,231}{86,198} \times 100$	104.7	△ 0.2	
2	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費}} \times 100$	$\frac{68,757}{76,010} \times 100$	90.5	$\frac{68,417}{75,999} \times 100$	90.0	0.5	
3	総資本利益率	$\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})/2} \times 100$	$\frac{3,921}{979,473} \times 100$	0.4	$\frac{4,033}{865,824} \times 100$	0.5	△ 0.1	
4	企業債償還額 対減価償却額比率	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$	$\frac{9,004}{33,642} \times 100$	26.8	$\frac{7,983}{21,449} \times 100$	37.2	△ 10.4	
5	固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})/2} \times 100$	$\frac{68,757}{693,845} \times 100$	9.9	$\frac{68,417}{604,186} \times 100$	11.3	△ 1.4	
6	料対 金す 取る 入比 に率	企業債償還額	$\frac{9,004}{67,495} \times 100$	13.3	$\frac{7,983}{67,280} \times 100$	11.9	1.4	
7		企業債償還利息	$\frac{10,726}{67,495} \times 100$	15.9	$\frac{10,063}{67,280} \times 100$	15.0	0.9	
8		職員給与費	$\frac{23,304}{67,495} \times 100$	34.5	$\frac{23,041}{67,280} \times 100$	34.2	0.3	
9	有 収 率	$\frac{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{年間配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$	$\frac{434,630}{636,374} \times 100$	68.3	$\frac{433,050}{493,823} \times 100$	87.7	△ 19.4	
10	施 設 利 用 率	$\frac{\text{1日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{1日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$	$\frac{1,739}{1,920} \times 100$	90.6	$\frac{1,353}{1,920} \times 100$	70.5	20.1	
11	配水管使用効率	$\frac{\text{年間配水量 (m}^3\text{)}}{\text{導配水管延長 (m)}} \times 100$	$\frac{636,374}{49,852} \times 100$	12.8	$\frac{493,823}{46,159} \times 100$	10.7	2.1	
12	供 給 単 価	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}$	$\frac{67,495}{434,630}$	155.29	$\frac{67,280}{433,050}$	155.36	△ 0.07	
13	給 水 原 価	$\frac{\text{総費用}-\text{受託工事費}}{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}$	$\frac{86,868}{434,630}$	199.87	$\frac{86,198}{433,050}$	199.05	0.82	
14	職員1人当り給水人口	$\frac{\text{給水人口 (人)}}{\text{職員数 (人)}}$	$\frac{4,552}{3}$	1,517	$\frac{4,568}{3}$	1,523	△ 6	
15	職員1人当り給水量	$\frac{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{職員数 (人)}}$	$\frac{434,630}{3}$	144,877	$\frac{433,050}{3}$	144,350	527	
16	職員1人当り営業収益	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{職員数 (人)}}$	$\frac{68,757}{3}$	22,919	$\frac{68,417}{3}$	22,806	113	